



Title	相対的な収入が生活満足度に与える影響及び，男性の 中年期における生活満足の減少要因の分析
Author(s)	三谷，康太；大野，創；後藤，啓介 他
Citation	大阪大学経済学. 2025, 74(4), p. 62-62
Version Type	VoR
URL	https://doi.org/10.18910/100641
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

【2024年度 学生懸賞論文受賞作 優秀賞要旨】

相対的な収入が生活満足度に与える影響及び、 男性の中年期における生活満足度の減少要因の分析

三谷康太 大野創 後藤啓介 井上京大

本稿の目的は、ミッドライフクライシスと呼ばれる主に男性が中年期において幸福度（生活満足度）が最も低くなるという現象について、その要因を分析することである。本稿では健康状況、家庭状況、経済状況の3つを生活満足度に影響を与える要因であると仮定し、若年期、中年期、高齢期に前述の要因がそれぞれどのように生活満足度に作用するかを分析した。その

結果、健康状況は生活満足度に影響を与えないものの、家族状況と経済状況では中年期のみに観測される特徴があった。具体的に、経済格差は中年期において低所得者の生活満足度を減少させることが分かった。また、家庭状況における配偶者の存在が生活満足度に与える影響は中年期に最も低くなることもミッドライフクライシスの原因だと推測される。